九夕 日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四 編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人 福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所 福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金武錢 一ヶ月金参拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日休刊）

組頭問題から轉じて 町議排斥問題起る 某町議の卑劣な行動に 十七名全町議が憤慨

四倉消防組頭門馬倉次郎氏排斥問題は既報の如く有志並に消防幹部間では辭職書を出した六十五名は全部止めさせてしまへといふ強硬論者が多數であるが、同問題は民政黨の劃策であるため我黨内閣の威光でそれも成らず引續き紛擾を續けてゐる、民政黨町會議員〇〇〇〇〇氏は同派の町會議員六名を煽動し組頭排斥の臨時町會招集を新妻町長に迫り開催せしめたが、その席上〇〇〇〇〇氏は「かゝる微々たる問題で町會を招集するとは怪しからぬ」と町長に喰つてかかつたので煽動されて町會招集の運動を行つた町議六名は勿論その經緯を知つた町議全部は某町議の卑劣な行爲に憤慨し組頭問題は該町議排斥問題を捲き起すに至つた、四倉町の紛擾かくの如くであるため同町有志古河定衛氏外二名が調停の勞を執りつゝあるから近く或は解決を見るであらうと察せられてゐる。

▲平町日用品物價

平町役場で調査した六日現在の市内日用品物價は左の如し。▲白米一キロ二十三錢▲味噌一貫目八十錢▲醤油一升六十錢▲酒一升一圓▲木炭（楢）一貫目三十錢、同（割）一貫目二十三錢（雑）一貫目二十五錢▲砂糖（白）百匁二十五錢（赤）百匁十三錢▲豚百匁四十錢▲牛百匁六十錢

▲平町八月成績

平郵便局における八月中の爲替貯金の取扱ひ成績は左の如し。
▲郵便爲替 振出三萬五千五百五十六圓九十四錢、拂渡三萬三千九百四十八圓三十六錢、前年比振出三分七厘增、拂戻一割三厘減
▲郵便貯金 預入二十一萬四千五百七十四圓四十三錢、拂戻十五萬八千九百三十二圓三十二錢、前年比預入二割三分四厘增、拂戻二割六分九厘增
▲振替貯金 拂込三萬五千五百五圓六十二錢、拂出四萬三千二百二十一圓六十二錢、前年比拂込八分四厘增、拂出二割九分八厘增

▲平警察署移轉

平警察署の移轉は愈々來る十二日行ふ事になつたが、演武場は追つて移轉する筈である。

▲伏見町長出福

伏見町長は九日福島市に開かるゝ公私經濟委員會に出席のため出福した。

村議瀆職事件起る 小學校工事を請負はせ 百圓を出させて飲む

石城郡海岸通り某村（特に名を秘す）では今回小學校の擴張工事を行ふ事になり植田町佐藤兼吉が校舍工事を請負つたが、同村村會議員等有志は工事を請負はせる事を條件に百圓を支出せしめて一同で飲酒した事發覺平警察署高等係で瀆職罪として調査の歩をすゝめてゐる。

四倉銀行重役改選

四倉町四倉銀行では五日臨時株主總會を開き取締役戸田雄章、佐藤宇三郎兩氏辭職の後任選擧の結果江口忠一、佐藤禎二兩氏に決定した。

恐ろしい 滯納處分 平税務署の案

平税務署では國税滯納者の生活狀態を調査した處、滯納する者は毎年ほとんど同一でしかも相當の資産を有する者多數を占め常習者と見られるのでこんな横着者の退治方法を研究した結果悪性の者は直ちに動産を差押へ法定期間の經過を待つて「國税滯納者處分」と赤地に白く染めぬいた旗を押立てゝ滯納者宅へ出張し横着者のみせしめにするといふ奇妙な案を立て横着者の現れ次第實行すべく手ぐすね引いてゐる。

小田炭礦公休日問題で 面喰つた平警察署 入坑者三十八名の罷業は 大衆黨の煽動でない事が判明

去る七日好間村小田炭礦會社に於て午前七時入坑した從業員三十八名が入坑後間もなく作業を止めて坑外に出たといふ急報に接した平警察署では數日前の馘首騒ぎがあつた直後の事とて大衆黨の煽動によつて同盟罷業を企てたのではないかと矢野特高主任、横地高等部長等現場に急行調査した處公休日問題で會社に交渉するため出坑したもので大衆黨の煽動によるものではないといふ事が判明し安堵したが一時は大騒ぎを演じた。小田炭礦の公休日は八日が公休日であるのを赤井嶽例祭があつたため三日に繰上げ八日の公休を十五日に變更したがそれでは余り間を置き過ぎるから八日を公休日として貰ひ度いと交渉するためである。

傳染病豫防 平警察署で

平町を中心とし好間、内郷、湯本各町村に最近赤痢病患者が續出するので平警察署では之が豫防に苦心してゐるが、平警察署管内に於ける本年四月からの傳染病患者發生數は
腸チブス八十五名（死亡十名）
パラチブス二名、ヂフテリア五十六名（死亡八名）猩紅熱三名、疫痢十八名（死亡十三名）
赤痢二十七名（死亡七名）
で小兒の疫痢に次ぎ死亡率の多いのは赤痢であるが、同病は初秋から患者が增すので平署で各町村役場と協力し一般民に注意書を配布して豫防に努める事になつた。

平陽校 成績展覽會

平町平陽女學校では十四日から三日間毎日午前八時から午後十時迄學業成績、裁縫品、手藝品等約三千点の展覽會を開き即賣も行ふ筈である。

火花を散らした 平・仙臺卓球戰

仙臺市卓球協會幹事對全平の卓球試合は八日午前十時から常磐銀行平支店で擧行、伏見町長の始球式で試合が開かれたが經過左の如し。

仙臺		平
稻村	一〇	三浦
星	〇一	菅谷

▲第一回優退戰

菅野	一〇	松田
翁	一〇	大坪
林	〇一	志賀
氏家	一〇	山田
菅原	一〇	山森
加藤	〇一	川角
小林	〇一	丹野
星	一〇	三浦
林	〇一	松田
加藤	〇一	大坪
小林	一〇	山田

▲第二次優退戰

林	一〇	山森
加藤	〇一	三浦

仙臺軍は加藤、平軍は山田、山森各氏の優退戰を行ふ筈であつたが、汽車時間の都合で午後二時半中止した。

置忘れた財布

平町三丁目骨董商平野井子之松が過般現金六百余圓在中の財布を同町料理店一瓢屋において飲酒中何者かに窃取されたと平署に届け出たので平署では近來にない怪事件として全力をあげ犯人捜査中であつたが何等手掛りもないので不審に思ひ、どこかに置忘れたのではないかと被害者について心當りを捜させたところ七日午後自宅内の片隅に右財布が落ちてあつたのを發見したが泥醉して置忘れたのを盗まれたものと早合点し届出たものらしい。

殺倒する 押賣人取締

最近秋風に吹きこまれるわくら葉の樣に見すぼらしい風体を看板にして市内に物賣りに入り込む孤兒、苦學生、工場負傷者及び歸國途上の鮮人と言つた敗殘者の群が多くなつたが、これ等のうちには虚僞の證明を持參して不良商品を賣つけたり、婦人や子供ばかりと見ると臺所へ腰を落ちつけて脅迫的の口調や態度で押賣したりする者が多く非難の聲が高いので平署では今後嚴重取締ることになつた。

如來寺で 庫裡新築

四倉町如來寺では工費七千圓を投じて間口六間奥行四間の庫裡を新築する事になり平町丸山慶治氏と請負契約が成立し近く着工の筈であるが寄附者左の如し
三百圓諸橋八太郎、三百圓丸山慶治、六百圓大平一治郎、三百圓佐藤一二、三百圓鈴木宇八、五百圓小松光要

三井呉服店で 寫眞陳列

平町三丁目三井呉服店では九日午後から店頭飾窓に縣社子鍬倉神社祭典の青年團旗寫眞、平藝妓奴行列の寫眞等を陳列すると

▲錦村の火事

石城郡錦村大字中田字馬場助川初吉（六七）方から八日午前十時ころ發火同家を半燒物置を全燒してやうやく同十時半鎭火したが損害は約二百余圓、原因については植田署で調査中だが失火らしい

▲炭車に觸れ死亡

石城郡磐崎村大字藤原三井炭礦支柱夫茨城縣多賀郡關本村生れ安島末吉（三〇）は七日午前十時頃同坑内で作業中炭車が逆行し來りその下敷となつて重傷を負ひ加療中八日死亡した。

平町禮讃

チブス菌生

おれはチフス菌だ。おれの立場から見ると凡そ平町位理想的な、安住所はちよつと他に見付からない。

□

なぜといふのに、町民の大部分が衛生思想の持合せなどは皆無といつてもよい程だからおれの乘すべき機會はいくらでもある。早い話がおれ達のウヨ〳〵棲息してゐる下水ドブを公々然と往來にブチ撒いてくれる。

□

半可通はおれ達が日光消毒されると、死滅するなどとエラさうにしやべつてゐるが、俺達の仲間だつてムザ〳〵往來で日ぼしになるやうな間抜けばかりはゐない、バケツや、ヒシャクでまいてるうちに、そいつの手や足にコビリついてやる。

□

道を歩いて居る奴にも都合よくその飛ばちりがかゝればどこまでもお伴をして、遠慮なく繁殖してやる。下水をまく位の奴だから、撒いてしまつたからとて、手を洗ふわけではない、その儘で西瓜も食へば唐きびも噛ぢる、得たり賢しとそいつの腹の中に繁殖してやるのだ。

□

斯うしておれ達の領分は毎日毎日擴張して行くのだが、間抜けな人間は避病院の建增さへやればおれ達が退治せられるものと思つて居るらしい。

□

だからおれ達は遠慮なく、平町民を後目にかけながら思ふ存分に暴威をふるつてやるのだ、今に見てろ傳染病の發生率に於ても町民の大すきな慣用詞「東北一」にしてやるからさう思へ。

原町通信

▲**馬匹衛生話寫**　福島産馬畜産組合主催の馬匹衛生講話活動寫眞は九日午後二時より縣立相馬農蠶學校に於て開く事になつた。

▲**福浦村の村會**　相馬郡福浦村にては左記事項を協議する爲め七日午前九時より村會議員を召集した。

一、藤沼隧道堀鑿に關する件
一、福島商業銀行預金に關する件

▲**福浦學務委員會**　相馬郡福浦村にては六日午前十時より緊縮方針に基き學務委員會を開きたるが折笠校長も出席して學校にては絶体豫算減の余地なしと主張し午後二時散會した。

小高のチフス

益々猖獗

▲**こんだ迷惑**　六日の午後七時仙臺放送局のニュースに双葉郡龍田村字立石の松本豊（ユタカ）が妻に熱湯をあびせかけられたーと放送されたのでその晩から七日の朝にかけて原の町郵便局へ見舞ひの電話や電報がドシ〳〵舞ひ込んだ、同局にては何事かとよくよく調べてみたら同局勤務の電話工夫で同村同字出身の然も同名なる松本隆（ユタカ）がゐるのでテツキリ同人と早合点したものが多かつた。

六日替り　有聲座

大帝キネ特作映畫封切
嵐玨藏、千草香子主演
新版怪談　累ケ淵　十二卷

嵐璃德、岩井竹錄、女軍總出
マキノ超特作　マキノ省三
市川幡谷、小金井勝、河津清三郎主演
山陽道　北陸道　水戸黃門　第三篇

桂武男、谷崎十郎、市川新藏
都賀一司、市川米十郎、金子新、新見映郎、都賀靜子
藤間林太郎、歌川八重子主演
小唄映畫　靑空

獨唱　松平時子女史出演
夕暮れにあほぎ見るかぎやく靑空
夕暮れてたどるは我が家のほそ道。
料金普通　土日曜ヒルあり

詰元社會ーソルマ國佛
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白
マルソー・ルージ・赤　¥1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

貸家案內

舊城跡　勤人向　八圓五十錢
白銀町　商店向　二十圓
同　料理店旅館向　八十圓
仲間町　勤人向　五圓五十錢
同　勤人向　四圓五十錢
同　五圓五十錢
同　十圓
鷹匠町　五圓五十錢
同　金五圓
五丁目同　八圓
內鄕村小島同　白銀町　加藤營業所

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科

平町南町
專門　外科
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

理化學研究所製
吸入用酸素酸素吸入器
正確ナ体温器寒暖計
磐城平町　特約店　開內藥局　電四〇番

凉しき　丈夫な白靴
弊店自製品　BA　七圓　六圓
ラケット　特賣
最新細形　金三圓より
水泳着と……運動服裝
豊富に廉價
各學校　會社御用
大塚支店　製靴部　運動具部
平町田町　電話七〇二番

平町字仲町
二葉印刷所
電話七三四番

外科
一般外科
泌尿科
婦人科
醫學士　海津俊一
X光線科主任　木下寅一
院長　新妻由五郎
平町田町　電四五四
赤心堂病院

萬病の靈藥
故長井博士の推奬せる
別府鑛泉　定價一圓也
地方一手販賣　平町五丁目角　山野邊藥局

醬油と味噌
福島縣平町
山崎合名會社
電話（醫業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七一二番
振替東京六八三一二番

▼上品雅味▲
割烹　末廣
▼懇切勉强▲
電話四二一番